

IFRS導入について

■ 国際会計基準(IFRS)導入について

当社グループは、国際的なスタンダードに基づく財務情報の開示によりグローバルでの比較可能性を高め、株主さまなどステークホルダーの皆さまの利便性向上を図ることを目的として、平成26年3月期決算から、従来の日本基準に替えて国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。今回発表しました財務諸表はIFRSに基づいたものですが、従来の日本基準で算出した主な数値は、右記のとおりとなります。

〈平成26年3月期決算〉

(単位:億円)

	日本基準	IFRS	差
売上高または売上収益	1,452	1,432	△ 19
売上原価	346	327	△ 19
販売費及び一般管理費等	848	841	△ 8
(研究開発費)	(486)	(444)	(△ 42)
営業利益	257	264	+ 7
当期純利益または親会社の所有者に帰属する当期利益	193	204	+ 11

■ IFRS導入にあたって ————— 取締役 専務執行役員 経営管理本部長 佐野 敬



当社グループは、日本に加えて、米国・欧州・アジアなど、グローバルに研究開発活動やライセンス活動を推進しています。また、株主構成では外国人投資家が約3割と高い水準になっています。

日本でIFRSを任意適用することを発表している企業は40社程度(平成26年5月現在:東京証券取引所)と限られていますが、上記のような当社の事業環境を鑑みて、任意適用を決めました。

IFRSは原則主義であるため、従来のように細かいルールや基準に照らすのではなく、企業が主体的に会計ルールを決める必要があります。会計処理に関する説明責任の重要性を意識して、責務を果たすよう取り組んでいきます。

患者さん支援のための取り組み

当社は、WEBサイトを通じて疾患および医薬品の情報発信、スマートフォン向け治療支援アプリケーションの提供など、患者さんやご家族、医療従事者の方々にお役立ていただける媒体をお届けする活動にも積極的に取り組んでいます。

■ コーポレートサイト～患者さんご家族の皆さまへ～

「主な当社製品について」では、当社の主要製品を正しくご使用いただくための情報を提供しています。また、「病気と治療の講義室」では、症状の具体的な事例、治療および普段の心掛けなど、図やイラストを交えて疾患について解説しています。

<http://www.ono.co.jp/patient/index.html>



■ 生活習慣病の自己管理サポートアプリ

体調管理・食事管理・服薬および通院管理・運動管理などさまざまな側面から、糖尿病をはじめとする生活習慣病の患者さんのサポートを目的としたスマートフォン向けアプリを無償提供しています。



■ オンコロジーサイト

患者さんやご家族の皆さまに、対象となる疾患や治療について正しく理解していただくための情報を提供する、がん領域に特化したWEBサイトを平成26年中に構築し、公開する予定です。

当社は、今後も患者さんにとって真に役立つ新薬の研究開発に取り組むとともに、このような情報提供を積極的に行うことを通じて、さまざまな形で医療の現場に貢献できるよう努めます。